



青翔 SSH 新聞

第22号

令和4年3月1日
奈良県立青翔中学校・高等学校
SSH委員会
〒639-2200 奈良県御所市525
TEL 0745-62-3951
中学 <http://www.e-net.nara.jp/jhs/seisho>
高校 <http://www.e-net.nara.jp/hs/seisho>

探究科学研究発表会

二月十二日に催された探究科学研究発表会では、一年間独自の研究を行ってきた生徒たちがその成果を発表した。

最優秀賞(高二)

成亥華萌さん 田淵柚奈さん 長野桜子さん

最優秀賞に選ばれたのは『可食色鉛筆の作成方法の検討』で、この研究を行った高校二年生の長野さんたちは、「食べるのでできる色鉛筆を作成することで、幼児の誤飲誤食を防ぎたい。」と話す。その想いを実現できるよう、先生方や班のメンバーと協力し、これからも研究に打ち込んでほしい。



優秀賞(高二)

松尾唯那さん 森本千慧さん

優秀賞を獲得したのは、高校三年生の『ブラックホール連星SS433のジェットの変化』で、ジェットの周期が一六三・〇六日であることを発見した。「新型コロナウイルスの影響で岡山の美星天文台に行くこ

とができず、リモートでの観測となり大変だった。」と話す。今後はブラックホール連星SS433の歳差運動の周期の変化の特徴を調べたいということだ。



優秀賞(高一)

大賀龍太さん 中井琳子さん 森本航太郎さん

優秀賞に高校一年生の『光害と季節と明るさの関係』が選出された。「研究から、夜空の明るさは人口と世帯数に比例関係があることが分かった。探究に使用した夜空の明るさを調べる器具が雨に弱く、改善方法を模索するが難航した。今後、タイの姉妹校と連携して、世界でのデータも測定したい。」と語る。



奨励賞(中三)

生物班 栗本明加理さん 小林大悟さん
白川結唯さん 益田理陽奈さん

化学班 米田朱里さん 新谷和奏さん
杉崎侑さん 中森悠翔さん



口頭発表の様子



ポスター見学の様子

中学三年生からは生物班の『お茶の色素と時間の関係』と化学班の『大和茶に含まれるビタミンC量と温度の関係』の二班が選出された。事前に学んだ内容を各々で考え、発表させた研究を行った。両班とも奈良県の特産品である「大和茶」を用いた研究を行い、地域貢献につなげていきたいと話す。生物班の米田さんらは慣れない器具を使用した実験が難しく、思うように実験が進まず大変だったそう



受賞した皆さん

おめでとうございませう！

「総合的な探究の時間・奈良T-ME」 「WWW」(ワールド・ワイド・ラーニング) 研究発表会

総合科学、探究科学から一班ずつが参加し、オンラインでの発表と意見交換を行った。また、本校の高校一年生から五名が運営に参加した。「リモートでの発表や運営の難しさを実感したが、視野が広がり、自分たちの研究に対する考えが深まった。」と参加した生徒は語った。

『新型コロナウイルス終息後の観光策に向けて』

秋山恵里さん 中井琳子さん
橋本蒼乃さん
ハンセン・アラフエナ・莉己さん

参加した班員は「初めての発表で緊張したが、自分たちの研究とは分野の異なる他校の研究は興味深く、参考になった。発表後に行われた他校の生徒と複数の部屋に分かれてのディスカッションがオンラインならではのものだと感じ、新鮮だった。他校の生徒と違う場所からつながり、意見を交換することで、交流の輪を広めることができたと思う。」と研究会を振り返った。

『温湯処理がヤマトマナに与える影響』

乾琴乃さん 中川咲良さん
松嶋奈央さん 藤原琉星さん

「探究活動の成果を英語を交えて発表した。他校の生徒の発表から、異なる考え方を知り、スライド作成方法などを学べて、全体を通してとてもいい経験になった。」と話す。



総合科学研究発表会

十二月二十四日、御所市の経済活性化を目指して高校一年生が、グループでそれぞれの研究を発表した。

様々な意見があり、生徒たちは互いに見識を深め合った。実際に御所市役所の方々の意見をこともでき、大変有意義な時間となった。



総合科学オンライン出前授業

二月二十一日、田村薬品工業株式会社研究開発部白井貴士氏による出前授業「医薬品の研究開発について」をオンラインで開催した。

新薬やシエネリック医薬品の開発方法を高校一年生にも分かりやすく説明していた。

特に新薬開発の成分調整から臨床実験、審査等、この工程を完了するまでには約八年かかるという事実は、学年全体が驚嘆した。私たちが風邪をひくたびに服用していた薬は、長い時間と厳密な審査を通過した物であるという事を知り、感銘を受けるとともに、薬品に対する関心が深まった。

日本学生科学賞

おめでとうございます！



高校三年生の北隅奈王さんと高見明日香さんによる「野菜スプラウトを低力リウム濃度にする方法の確立」が中央審査で三等に入選しました。

第二十二号担当は、高校一年秋山恵里・下田ちとせ・白銀隼大
中川咲良と中学一年小林瑠己・西村優真・太田聖・的場百音です。